

○議長（村田千鶴子議員） 次に、大手理瑛さん。

〔4番 大手理瑛さん登壇〕

○4番（大手理瑛さん） 大手理瑛です。よろしくお願ひします。

それでは、通告に従ひまして質問いたします。

私は、昨年、六合地区在住有志とgo!go!Rokugo!projectという地域活性化グループを組織しました。私たちは島田が大好きで、六合大好きなみんなで、自分たちができることや得意分野で地域活性につながる何かをしたいと思い、活動しています。平成29年度の島田市緑茶化計画広報用物品制作費補助金を活用し、ことし3月に子供たちが元気に歌って踊れる御当地ソング「おしまちゃんde踊っ茶おっ」のCDを製作しました。活動していく中で、もっと島田市をPRできるアイデアや活性化につながる商品化のアイデアが出てきました。市民の中にはきっと私たち以外にもいろいろなアイデアを持った人がいるはずだと思います。もしもその中に形にできずに終わってしまっているアイデアがあれば、それらのアイデアをうまくコーディネートし、新たなコンテンツを生み出していくことで、さらに島田市のシティープロモーションにつながるものと考えます。そこで、以下のことについて質問します。

(1)市民がアイデアを提案できる場や集約できる場、それらを担当する部署はありますか。

(2)アイデアを具現化するための支援制度はありますか。

(3)アイデアを埋もらせることなくコーディネートし、新たなものを生み出していきたいと考えていますが、その場合の支援制度はありますか。

以上で、壇上での質問を終わります。

〔4番 大手理瑛さん発言席へ移動〕

○議長（村田千鶴子議員） 染谷市長。

〔市長 染谷絹代登壇〕

○市長（染谷絹代） 大手さんの1の(1)の御質問についてお答えをいたします。市民の皆様のアイ

デアや提案を集約する専門の部署はありませんが、シティープロモーションなら広報情報課、まちづくりであれば協働推進課など、それぞれの分野での担当部署があります。どこの部署にお話をいただいても、縦割りではなく、横の連携により横断的に対応してまいりますので、安心して御提案や御相談をしていただければと思います。そのほか市長への手紙、移動市長室での懇談、ワークショップへの参加など、さまざまな方法で御提案いただくことができます。

次に、1の(2)の御質問についてお答えをいたします。市民のアイデアを商品化したり、具現化するための支援制度といたしましては、島田市緑茶化計画に関するものであれば、大手さんに御活用いただきました島田市緑茶化計画広報用物品制作費補助金があります。また、まちづくり活動に関するものであれば、まちづくり支援事業交付金など提案していただく内容や活動に応じた支援制度があります。こうした支援制度につきましては市のホームページ等で紹介しておりますが、大手さんが声をかけやすい部署で構いませんので、お気軽にお問い合わせをください。

次に、1の(3)の御質問についてお答えをいたします。大手さんの御意見のとおり、アイデアをつなげ、コーディネートし、新たなものを生み出していくことは大変重要なことだと考えております。これからの行政は、前例踏襲ではなく、時代の変化や市民のニーズに合ったサービスの提供や事業を効率的に行っていくことが求められていますが、それを行政だけで全てカバーしていくのは財政的にも大変厳しい状況でございます。そのためには、大手さんやお仲間の皆さんのように島田市の活性化を自分事として考え、行動する市民をもっとふやしていく必要があります。今後はそうしたやる気とアイデアを持った市民が集まり、意見を出し合うことのできる場面づくりや機会の提供を行っていきたいと考えております。

以上、答弁申し上げます。

なお、再質問につきましては担当部長から答弁させる場合がありますので、よろしく願いをいたします。

○議長（村田千鶴子議員） 大手さん。

○4番（大手理瑛さん） 御答弁ありがとうございます。それでは、再質問させていただきます。

今年度の島田市緑茶化計画の予定事業で、市民が参加できるものはありますか。

○議長（村田千鶴子議員） 鈴木市長戦略部長。

○市長戦略部長（鈴木将未） 御質問ありがとうございます。まず、緑茶化計画の今年度の主な事業といたしましては、例えばポスターですとかのぼり旗、ノベルティーなどに活用していくメインビジュアルの制作、それからブランド商品の開発、それと体験プログラムの開発、ウェルカムブックの製作、プロモーション動画制作などを予定しております。このうちブランド商品の開発につきましては、市内の茶業関係者ですとか飲食店の方々などとワークショップなどを開催しまして開発していきたいと考えております。それから体験プログラムの開発につきましては、市内の企業ですとか団体などと企画の検討などを行っていきまして開発を進めていきます。それからプロモーション動画の制作につきましては、クラウドソーシング、御自宅や会社ではなくていろいろ、ワーカーの方々を手伝っていただきながら制作をしていくということも考えております。こうした事業につきまして、大手さんのようにやる気のある、意欲を持っていただける市民の方々にかかわっていただけるように考えていきたいと考えております。

以上です。

○議長（村田千鶴子議員） 大手さん。

○4番（大手理瑛さん） ありがとうございます。

次に、活動支援に対する補助金などの制度はどのようなものがありますか。

○議長（村田千鶴子議員） 鈴木市長戦略部長。

○市長戦略部長（鈴木将未） 市長答弁の中にもありましたように、島田市のまちづくり支援事業交付金ですとか、そのほか島田市の観光振興活動支援事業費補助金などが考えられます。まずまちづくり支援事業交付金ですけれども、これは市民の方々が主体的に取り組む事業、こういうところに交付していくものですけれども、3種類交付金を用意しております。その3種類、それぞれ上限が10万円、30万円、50万円となっておりますけれども、2年間ずつステップアップしていくような仕組み、そうしたことになっております。最長で6年間、合計では何と180万円上限ですけれども、180万円まで交付していくというような事業です。具体的に例えばどういう活用があったかといいますと、昨年度大井川鐵道五和駅の活用による地域活性化の事業ですとか、牧之原公園の活用、それから婚活イベントの開催、それとシマアツの開催によります市内の賑わいの創出、そうしたことに使っていただいております。

もう一つ、観光振興活動支援事業費の補助金につきましては、市の観光振興、それから島田市を知ってもらう活動、そうしたことを行っていたく団体に交付しているものです。補助率は経費の2分の1で、上限は30万円となっておりますけれども、こちらの具体例としましては、活用例としましては、2年間やってきていますけれども、川根の冬の天王山祭りの事業、2年間、こちらには補助をしております。それから博物館で2年間、刀剣展を今まで開催していますけれども、その際にトレーディングカードをつくっていただきまして、それを活用した地域回遊の促進の事業、いろいろな市内を回っていただくような事業に活用していただいております。それとあと昨年度ですけれども、島田のさくらめしというのを開発したのですけれども、その事業にも使っていただいております。

以上です。

○議長（村田千鶴子議員） 大手さん。

○4番（大手理瑛さん） ありがとうございます。
市民のアイデアをつなぎ、コーディネートをしていく活動に対する支援はありますか。

○議長（村田千鶴子議員） 鈴木市長戦略部長。

○市長戦略部長（鈴木将未） 考えられるものとしては、やはりまちづくり支援事業交付金、こちらを活用していただきたいと考えております。こちらは市民のやる気を後押しする制度ということで創設していますので、ぜひ活用してください。それから島田市の行政改革推進委員会というところから意見をもらっているのですが、市民同士のつながるきっかけは、ほんの少しの行政からの支援、そうした御意見をいただいております。補助金、交付金に限らず、ぜひ御相談をいただければ、いろいろなことで後押しをしていきたいと考えております。

○議長（村田千鶴子議員） 染谷市長。

○市長（染谷絹代） 大手さんは「おしまちゃんde 踊っ茶おっ」のCDの作製をしていただきましたよね、補助金を使っていたらいい。私はこの活動で本当に感服していることがあります。それは、CDをつくったことをゴールにせず、それをスタートとして六合地区の小学校の運動会で子供たちに踊ってもらったり、先日はおおりの舞台上最後の締めみんなで踊りましたよね。ああいっただ活動を通して、補助金をもらってつくったことをスタートとして、さらなる活動を展開できる、それだけの人材がこの島田市にいるということが大変にうれしく思っています。補助金制度だけではなく、そのアイデア、こんなことを考えているのだけだと思うことを形にするためには、やはり仲間が必要ですし、行政のちょっとした後押しでそれがやりやすくなったり、やりにくかったりするのだと思うのです。ぜひ私は今、市民の皆様をお願いしているのは、一人誰か市役所の中に、この人なら私は話やすいと。防災のことでまち

づくりのことで、ほかの分野のことで構いません。自分が、この人になら話しやすいという職員を見つけてください。そして、その人にいろいろな話をしてください。そこから横に連絡をして市内のネットワークはつくっていただけます。どこに話したらいいのか、誰に言った方がいいのかと悩まずに、やはり市民と行政の間がつながりやすい、その人と人とのつながる場をつくっていくことが、皆さん方が活動しやすくなるための行政側としての大事なスタンスだというふうに思っております。お気づきの点を教えていただきながら、さらに市民の皆様がみずから進んで地域のために何かしたいという気持ちが沸き立つような、そしてまたそれが実現できるような後押しをしてまいりたいと考えております。

○議長（村田千鶴子議員） 大手さん。

○4番（大手理瑛さん） ありがとうございます。

最後に私から、今ある島田市の観光資源、蓬莱橋や川越や街や人の特性を生かして、まだまだ島田市はやれることがたくさんあると思います。市民の中に素敵なアイデアを持っている方が本当にたくさんいるはずで、今回、私が思ったのは、商売をしていたり、何か自分でやっていたりする方とかは実現化しやすいと思うのですが、そうではない、本当に何も横のつながりもなく発言するというのはやはり根気が要ることですし、そのための労力も必要になってきます。なので、そういった方たちの大半の方は発言をせずにいたりする方もいると思うので、こんな活用をしたらもっとよくなる、こんなものがあつたら島田市のPRにつながるというような市民の声を聞きながら、行政と連携しながら、そういったものが形になる場があればいいと思っています。

市内では小学校3年生の子がみんな島田市のことを授業で学びます。そのときに島田市のことをいろいろたくさん知っていますが、そのときに本当に子供たちの中にもしっかりと島田愛が育ってい

て、その子供たちももう緑茶化計画のファンになつたりとか、島田愛で育っていく島田愛の中で自分も何か子供が小さいながらも、島田市のために何かしたい、何か自分にもできないかというのをやはり考えている子たちが周りの声でたくさん聞かれるので、そういったことも含めながらプロデュースできることが民間でできたらうれしいと思っています。そういったことを、思いを形にして喜びを感じることをそういった仲間ですらやっていけたらと思っています。やはりそういったことを活動するときに、ボランティアや自己資金だけでは限りがありますので、支援があれば活動をスタートする準備をしたいと思っています。そこで満たされたことやものが緑茶化計画の推進や島田市を市内外、県外へのつながりにつながればと思っています。そして島田市出身の方だけではなく、住んでいる方々、ここに移住してきた方々もそうですけれども、島田市が大好きと言ってくれる方々をもっともっとファンをふやしたいと思っています。緑茶化計画も応援しています。

それでは、本日はこのような場に参加させていただいてありがとうございました。